

## 受 検 の 流 れ

お 客 様 出 力 の 場 合

P D F 出 力 の 場 合

STEP 1



### お申し込み

- 申込書の必要事項をご確認ください。
- 受検者のプロフィール項目、受検開始期間などを申し込み時に設定いただきます。

STEP 2



### 受検用URL / ユーザー ID・パスワードの発行受理

- 御社に、受検用URLと御社管理用のID、パスワードをご連絡いたします。

STEP 3



### 受検者に対する告知

- 御社にて該当者に告知をお願いいたします。

STEP 4



### Web診断受検

- 受検者が各自のパソコンからWeb接続をして、診断を行います。(※1)
- 所要時間は、パーソナリティ約30分、能力テスト約30分。

STEP 5



### Webから結果をダウンロード

- 結果をダウンロード後、簡単な操作(※2)で、「アウトプット」をお手元でご確認いただけます。
- 採用アウトソーシング会社との連携も容易です。

STEP 5



### 結果をPDFファイルでメール納品

※1：動作環境 OSに依存せず、次にあげるブラウザの最新版で動作します。  
Microsoft Internet Explorer, Mozilla Firefox, Google Chrome, Safari ※、Opera ※ タブレットにも対応(スマートフォンは不可) ※ 2015年4月1日より対応  
※2：結果の出力 ① Webから、結果リストをダウンロードします。 ② 結果リストを別途御提供する「マクロ」に取り込むことによって、「B-CAV®診断結果」を出力することが出来ます。

## イージーカスタマイズ

### 無料カスタマイズ

等級別「ビジネス行動」要件の4等級～8等級の範囲での選択可能

### 有料カスタマイズ

等級別「ビジネス行動」要件の等級別選択項目の変更が可能(有料)

## オプションサービス

- 等級別・職種別「ビジネス行動」要件設定コンサルティング
- 採用・配置・昇格等のアセスメント
- B-CAV®診断結果をもとにした、個人へのフィードバック研修
- B-CAV®に連動させた、人事制度設計・修正コンサルティング
- 「ハイパフォーマー分析」「人材構成分析」等の組織分析

<お問合せ>

著作権、知的財産権は下記に所属します

■ フォー・ノーツ株式会社 : 登録商標B-CAV®、B-CAV45項目  
■ 株式会社イー・ファルコン : ベースとなる適性診断「職業総合適性診断eF-1」、  
診断分析ロジック、診断解析・出力プログラム

■ 本診断は、フォー・ノーツ株式会社と株式会社イー・ファルコンの共同開発です。

### フォー・ノーツ株式会社

www.fournotes.co.jp

〒107-0052  
東京都港区赤坂8-5-40  
ペガサス青山310

TEL : 03(6447)1321  
FAX : 03(6447)1322  
info@fournotes.co.jp

### 株式会社イー・ファルコン

www.e-falcon.co.jp

〒104-0031  
東京都中央区京橋3-7-5  
京橋スクエア12F

TEL : 03(6228)7817  
FAX : 03(6228)6287  
infor@e-falcon.co.jp

Copyright © FOUR NOTES Inc. / e-FALCON Co.,Ltd. All rights reserved.



# なぜ仕事ができるのか、 できないのかを可視化する

～社員の成長ステップが明らかになる、人事のプロが作った適性検査～



# B-CAV® test II

Business Core Action Value

## B-CAV® test IIとは

B-CAV® test IIは、ビジネスにおいて期待される成果を出す上で鍵となる、個人の「強み、弱み」「得意・不得意」や「好き・嫌い」を、【パーソナリティ】【モチベーション】【ビジネス行動の傾向】【等級適合度】【職種適合度】【人材タイプ】の多角的視点から診断します。

また【ビジネス行動の傾向】は、人事制度上の等級要件と

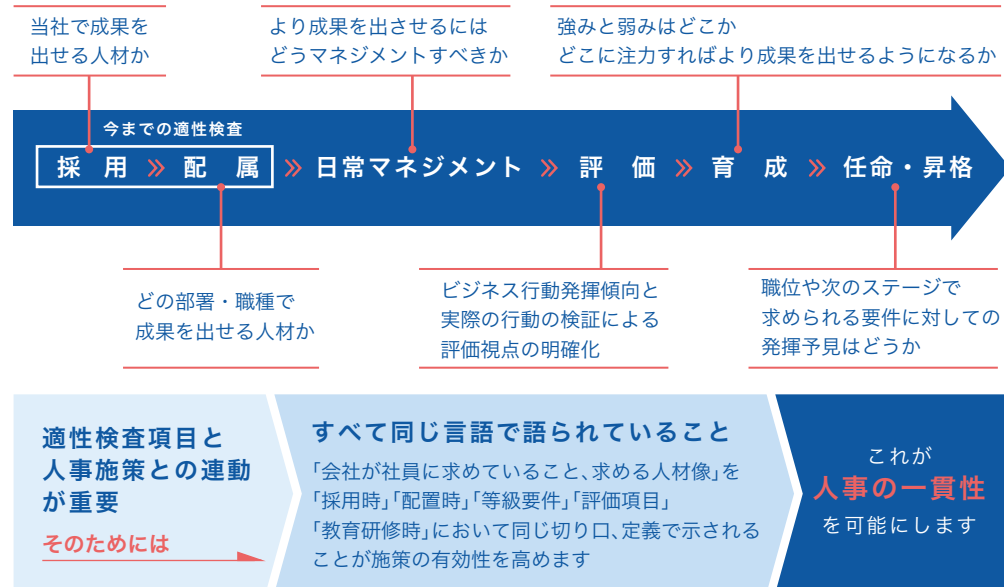
連動ができますので、制度構築における等級要件の整理や、採用基準策定など、人材活用、人材育成と連動させた人事施策の一貫性の確保や人材強化ポイントの明確化のツールとしても活用できます。

※ B-CAV®は、フォー・ノーツ株式会社の登録商標です。

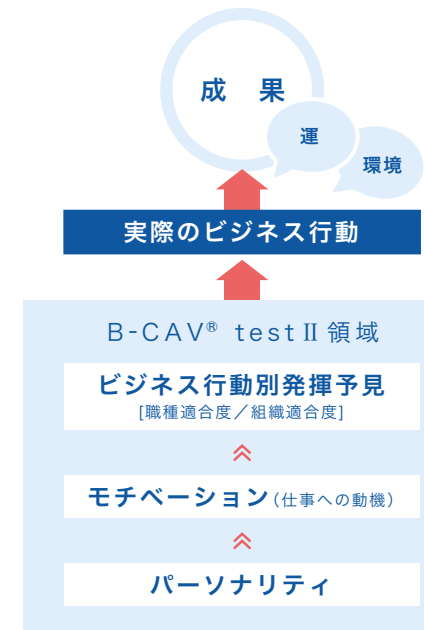
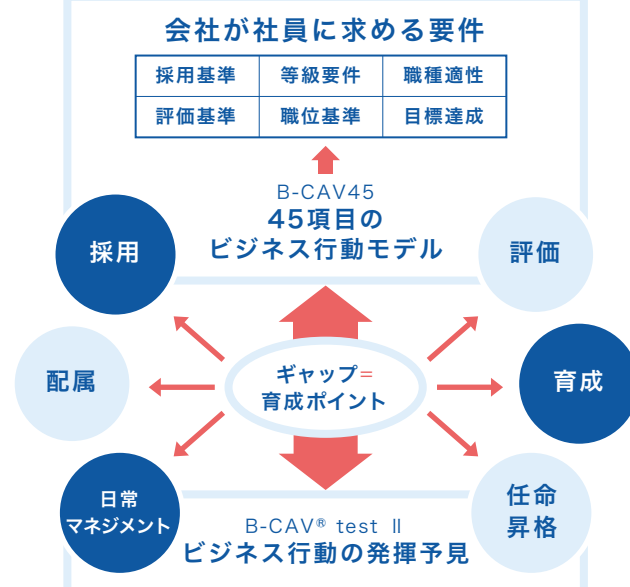
www.b-cav.jp



## 様々な場面で活きるB-CAV<sup>®</sup> test II



## 育成ポイントを明らかにするB-CAV<sup>®</sup>



## 診断の目的

1. 成果を出せる人材かどうか
2. より成果を出すために必要な要素は何か
3. 成果を出せていない理由は何か

## 個人理解のための「要素」とその必要性

ビジネスの「成果」とは、成果につながる「ビジネス行動」と、その際の「運・環境要素」によってもたらされるものです。成果につながるビジネス行動は、その人が持つ「パーソナリティ」と「モチベーション (仕事への動機)」によって、発揮しやすさ、しにくさがあります。これを「発揮予見」と言います。発揮予見を知ることにより、求められるビジネス行動に対して、個人が「苦もなくできるのか」「その行動を避けようとするのか」といった傾向が見えます。その傾向に留意し、マネジメントや育成を行い、個人がそれを理解することにより、気づき、「実際のビジネス行動」を意識して変え、成果をもたらしやすくしていくことが可能です。B-CAV<sup>®</sup> test II は、個人が成果を出すために必要な要素を理解することができる検査です。

## B-CAV<sup>®</sup> test II 診断表の見方

本診断は株式会社イー・ファルコンが所有する「職業総合適性診断eF-1」をベースに行っております。職業総合適性診断eF-1は、2003年に多湖輝氏 (千葉大学名誉教授) の監修によって開発されました。以来、年間10万人以上の受検者を数える実績があります。B-CAV<sup>®</sup> test II は、eF-1で蓄積されたデータ、ノウハウをベースとして、開発されています。

## 1 パーソナリティ

【パーソナリティ】では、A.ワークスタイル、B.コミュニケーション、C.エモーション、D.ストレス耐性の4分類34項目で診断します。各項目とも高い場合、低い場合において現れる特徴が異なりますので、それぞれ結果を正しく把握し、性格上の傾向性を理解して下さい。

### A.ワークスタイル

「何々しがち」といった性格面における特徴を、仕事場面中心に10項目で診断しています。

### B.コミュニケーション

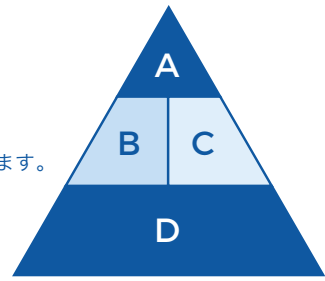
他者との関わりにおける特徴を、10項目で診断しています。

### C.エモーション

情動面における特徴を、10項目で診断しています。

### D.ストレス耐性

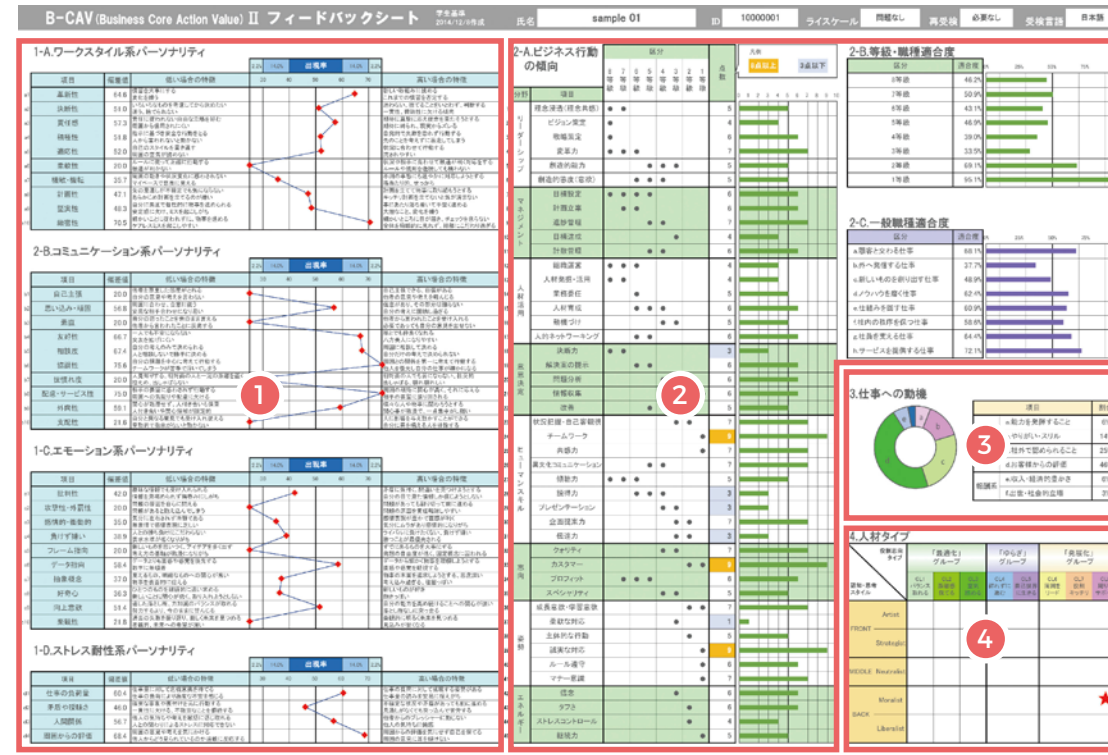
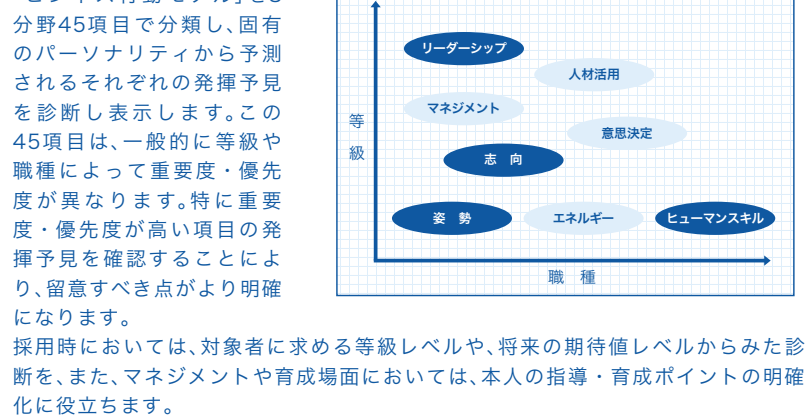
様々なストレスがかかった際の対応する強さを、4項目で診断しています。



## 2 ビジネス行動の傾向

ビジネス場面で求められる重要な「行動」について、予測される「強み・弱み」「得意・不得意」「好き・嫌い」を表示します。

ビジネス場面で求められる「ビジネス行動モデル」を8分野45項目で分類し、固有のパーソナリティから予測されるそれぞれの発揮予見を診断し表示します。この45項目は、一般的に等級や職種によって重要度・優先度が異なります。特に重要度・優先度が高い項目の発揮予見を確認することにより、留意すべき点がより明確になります。



## 3 仕事への動機

個人の「仕事への動機」をパーセンテージで表示します。

「a.能力を発揮すること」、「b.やりがい・スリル」、「c.社外で認められること」、「d.お客様からの評価」、「e.収入・経済的豊かさ」、「f.出世・社会的立場」についてどの項目を重視しているかを比率で表示します。

© e-FALCON Co.,Ltd. All rights reserved.

## 4 人材タイプ

組織内でどのような役割を志向しやすいか、また、どのような仕事の進め方、学び方が効果的であるかをマトリックスで表示します。

横軸に、役割 (志向) 8タイプを表示します。8タイプは、3つのグループに分類されます。組織の中で、その人が果たしたい (=好む) 役割から分類したものです。大別すると3つのグループになり、事が新たに生まれて、育ち、成熟していく過程に、位置づけることができます。

- 「ゆらぎ」グループ：0⇒1 / ゼロから生み出すことを好みます。今の現状を打破して、組織にゆらぎ・変化をもたらします。
- 「発展化」グループ：1⇒100 / ゆらぎ (着想) から、こうすべきではないかと拡大、発展させていく活動を好みます。
- 「最適化」グループ：100を守る / 構築されたものを、着実に安定的に回し、最適化を図ります。

縦軸に、職務遂行タイプとして、受検者の認知と思考の特性から見たとき、どのような学び方が効果的であるかを5つのスタイルで表示します。

- Frontの2タイプは、前に出て主体的で自発的に動いていくタイプです。
  - Artistタイプ：物事を自身の興味・関心で捉え、自発的に探求していくタイプ
  - Strategistタイプ：物事を客観的に整理し、自発的に探求していくタイプ
- Middleタイプ (Neutralist) は、バランス感覚に優れたタイプです。
- Backの2タイプは、協調性に優れているタイプです。
  - Moralistタイプ：物事を客観的に整理し、人から素直に学ぶことができるタイプ
  - Liberalistタイプ：物事を自身の興味・関心で捉え、人から素直に学ぶことができるタイプ

© e-FALCON Co.,Ltd. All rights reserved.

### POINT 1 45項目10段階診断

ビジネスに求められる45項目のビジネス行動モデルに対し、固有のパーソナリティから予測される発揮予見を、それぞれ1〜10の10段階で表示します。また、表示値については、「個人内相対」と「社会人・学生との比較絶対値」の2種類からの選択が可能です。

### POINT 2 等級対応・職種対応

4等級制から8等級制までの、一般的に求められる行動モデルを用意しています。また貴社人事制度に照らし合わせ、等級別項目設定や職種別項目設定のカスタマイズも可能です。

### POINT 3 等級・職種適合度表示

各項目の点数を等級別に集計して、等級適合度をグラフ表示しています。これにより、等級レベルと比較した適合合いが一目瞭然となります。自社カスタマイズにより、採用時・昇格時の参考指標にもなります。

### POINT 4 一般職種適合度表示

どのような職種に適合しやすいかを、8分類で表示します。「a.顧客と交わる仕事」、「b.外へ発信する仕事」、「c.新しいものを創り出す仕事」、「d.ノウハウを磨く仕事」、「e.仕組みを回す仕事」、「f.社内の秩序を保つ仕事」、「g.社員を支える仕事」、「h.サービスを提供する仕事」について、パーソナリティから予見した適合のしやすさを表示します。